

# 移植を受けた



患者



家族

の声

多くの不安や悩みは一人で抱えず、医療者や家族や友人に相談をする。一人で孤立しないようにするのが大切。体力はゆっくり戻るので焦らない。

患者A

肌に触れるものを清潔にすることは大事。自分で掃除しきれない分は清掃業者さんや親に依頼した。こういう割り切りも必要。家族も疲れないように。

家族Y

子どもがもってくるウイルスなどから感染しないよう気を付ける。二次ガンのリスクを避けるため、皮膚に関しては日焼けをしない。定期的に検診を受ける。

患者B

体力作りをしたりストレスを溜めない。できないことは無理せず周りに協力してもらう。

患者D

移植をしても、すぐに元の生活に戻れるとは限らないと心に留めておいてほしい。「焦らないこと」「回復には時間がかかるもの」と覚悟しておくことが大切。

患者E

移植を乗り越えても全てが解決するわけではなく、移植前より困難は多くなるかもしれない。自分を大切に無理はしない。やりたいこと、楽しめることを見つける。

患者C

移植の基礎知識、移植後の生活で注意すべき点、薬服用の継続について、通院について知っておく。

家族T

移植をする本人は孤独感でいっぱいなのだろうから、みんなで支えることが大事。

家族S

力が戻れば好きなことも出来るから、まずは感染対策をして防げる併発症を防ぎ、支えてくれる人と少しずつ、焦らずに社会復帰をして欲しい。

患者F

1 造血細胞移植を受けるということ

2 移植前の準備

3 移植中の治療・副作用対策について

4 移植後、退院まで

5 移植後長期フォローアップ

6 その他

## インフォームド・コンセントとは？

インフォームド・コンセントは、診療に対して医療者がていねいな説明を行い患者様とご家族がその説明内容を理解して同意することです。

### インフォームド・コンセントの進め方

#### 01

#### 病名・病状について

病気の種類、進行度・病期、これまでの治療の経過をお話し、それに基づいて選択される治療法について言葉と文書で説明します。

#### 02

#### 治療の目的について説明を受ける

これから行う治療(特に今回は移植)について、治療の目的とそれに伴うメリット・デメリットを十分に理解してもらるように説明を行います。

#### 03

#### 治療選択について合意形成

予測される副作用や予後、移植をしない場合の選択肢などを話し合ったうえで、治療方針について医療者・患者様とともに協働意思決定\*を行います。

#### CHECK

※協働意思決定 Shared-Decision-Making

情報・目標・責任を共有する、患者様と医療者間の対話・コミュニケーション。

## 意思決定において大切にしたいこと

### 1 あなた自身の自己決定

医師から説明されたことについて、あなた自身が選択することを大切にしてください。

### 2 どのくらいの情報を、どの程度知りたいか？

病状や治療の説明には「良い知らせ」と「悪い知らせ」の両側面があります。あなた自身が情報をどのくらい知りたいかなどご希望をお聞かせください。あなたの意思決定において「知る権利・知らない権利」を医療者も大事にし、一緒に考えます。

### 3 「もしも」に備える

治療が順調に進むことを期待しますが、移植中は急に体調を崩し場合によっては自分のことを自分で決められなくなることがあります。「もしも」のことを大切な人と話し合っておくことをおすすめします。

### あなたが人生で大切にしたいこと

あなたが人生で大切にしていることはなんですか？移植は長い旅路です。旅の前にもう一度、あなたが大切に思っていることを胸に詰め込んで、旅をスタートしましょう。

藤森麻衣子「がん医療における患者-医療者間のコミュニケーションガイドライン2022年版」  
腫瘍内科=Clinical oncology/腫瘍内科編集委員会編 33

# これから移植を受ける 皆様へ

東北大学病院  
造血幹細胞移植支援センター

## 福原 規子

前処置の化学療法や放射線治療を終え、いよいよ移植日を迎えると、ようやくスタート地点に立つことになります。移植は化学療法のように期間が限られているものではなく、月単位で起こりうる様々な合併症を乗り越えながら、少しずつ進んでいくフルマラソンのような医療です。

手洗い、口腔内・歯や肛門の清潔保持、薬を飲むこと、ごはんを食べること、体を動かすこと、どれも基本的なことばかりですが、日々の積み重ねがとても大切です。移植後には、移植片対宿主病(GVHD)や感染症などの合併症、そして再発など、様々なことが起こり得ます。検査や薬が増えて、なかなか良くならないように感じるときもあるかもしれませんが、それでも少しずつバランスを取りながら過ごしていくうちに、やがて落ち着いていきます。

私たち医療チームは、これから移植を受けられる方やご家族の皆様とともに一步一步、歩んでいきます。